《 様式１－１　建物被災状況ﾁｪｯｸｼｰﾄ（木造） 》

* + **木造建築物用シート（２枚のうち１枚目）**

１　避難場所・避難所開設の際に、施設の安全性を確認するための目安。

２ 鉄骨造建築物は、判断が難しいので、市及び施設管理者が協議。

３ 一見して危険と判断できる場合は、市へ連絡し、他の避難所へ誘導等、必要な対応を検討。

【 手順１ 】

1. ２人以上で、危険箇所に注意して目視による点検。

⑵ 質問１から順番に点検を行い、質問１～７までで、ⅡまたはⅢと判断された場合は建物に入らず、質問８以降に内部状況のチェックは不要。

⑶ 危険な場所は、張り紙をして立ち入りを禁止。

⑷ 質問事項に限らず、少しでも建物の状況に不安がある場合は、本部へ連絡し専門家の判定を待つ。

避難所(場所)名

点検実施日時　　　　 　年　　 月　 　 日 　　　時　　　分

点検者氏名　　　　 /　　　　　　　　　/

次の質問の該当する項目に☑をつけてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 質　　問 | 該当項目 |
| １　隣接する建物が傾き、避難所建物に倒れ込む危険はあるか。 | □ Ⅰ いいえ□ Ⅱ 傾いている感じがする□ Ⅲ 倒れている、倒れそうである |
| ２　周辺にがけ崩れ、地割れ、噴砂・液状化、地盤沈下が生じているか。 | □ Ⅰ いいえ□ Ⅱ 生じた□ Ⅲ ひどく生じた |
| ３　建物の基礎は壊れているか。 | □ Ⅰ いいえ□ Ⅱ 一部壊れている□ Ⅲ ひどく壊れている |
| ４　建物が傾いているか。 | □ Ⅰ いいえ□ Ⅱ 傾いている感じがする□ Ⅲ 明らかに傾いている |
| ５　外壁が落下しているか。又は亀裂が生じているか。 | □ Ⅰ いいえ□ Ⅱ 一部に落下、亀裂が見られる□ Ⅲ 落下、亀裂が広範囲にある |
| ６　屋根瓦が落下しているか。 | □ Ⅰ いいえ□ Ⅱ 一部ずれている□ Ⅲ 落下している |

**〇木造建築物用シート（２枚のうち２枚目）**

|  |  |
| --- | --- |
| 質　　問 | 該当項目 |
| ７　窓ガラスが割れているか | □ Ⅰ いいえ□ Ⅱ 割れている |
| ８　床が壊れているか | □ Ⅰ いいえ□ Ⅱ 少し傾いている□ Ⅲ 大きく傾いて下がった |
| ９　柱が折れているか | □ Ⅰ いいえ□ Ⅱ 一部割れている□ Ⅲ 完全に折れたものがある |
| 10　内部の壁が壊れているか | □ Ⅰ いいえ□ Ⅱ 大きなひび割れ、目透きがある□ Ⅲ 壁土やボードが落下している |
| 11　建具やドアが壊れているか | □ Ⅰ いいえ□ Ⅱ 一部に見られる□ Ⅲ ドアが動かず、建具が倒れている |
| 12　天井、照明が落下しているか | □ Ⅰ いいえ□ Ⅱ 落下しかけている□ Ⅲ 落下している |
| その他 ※目に付いた被害状況を記入してください。 |

【 手順２ 】

質問１～12の結果から必要な対応を取ります。

1. Ⅲの答えがひとつでもあると「危険」です。

施設へは立ち入らず、市へ連絡し、他避難所に誘導、対応を協議する。

1. Ⅱの答えがひとつでもあると「要注意」です。

施設へは立ち入らず、市へ連絡し、専門家の診断、応急補修など行う。

1. Ⅰのみ　危険箇所に注意し、施設利用する。
* 余震により被害が進んだと思われる場合、再度点検を行う。
* このシートによる判断は、あくまで臨時的なものであり、市へ連絡し、できるだけ早く専門家の判定を受ける。